

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	三宅恵里子	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	権利擁護部会	
日 時	令和 7 年 9 月 17 日（水） 10 時 30 分～11 時 45 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 8 名	事務局 6 名	
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ なし		
次第	1 災害時支援について 2 障害者虐待防止法勉強会について 3 障害者差別解消法の啓発について 4 本日のまとめ、次回の検討事項の確認について		
報告・検討 の内容	1 災害時支援のアンケートについて（資料 1， 2 参照） ・ 9 月中旬に市内障害福祉サービス事業所に配布、11 月末回収。12 月中に回答集計し、2 月の部会で結果をもとに次年度の方向性を決めていく。 2 障害者虐待防止法勉強会について（資料 3 参照） ・ 講師と講義内容（意思決定支援におけるコミュニケーション）を調整中。 ・ チラシ完成後、周知をしていく。 ・ <u>当日部会員の参加者は、下山・磯畑・高木、福田（13 時まで）。</u> （1）シンポジウム内容 ① シンポジストに予めコミュニケーションについてテーマを提示する。 ② 支援中、そのテーマに着目して取り組む。 ③ テーマに取り組む前と後で、利用者がどのように変化したか（意思の表出や関わり方）、支援者側の気付きや意識の変化について発表する。 ・ 次回の打ち合わせ時にシンポジストも参加し、内容をすり合わせる。 （2）動画の公開範囲について ・ 昨年度は講義を録画し後日配信した。今年も動画配信予定。動画視聴可能とする方は申し込みした人限定にするのか、幅広く視聴可能とするのかを検討した。 ・ 誰でも視聴可能にすると来場するメリットが薄れて、申込者が減るのではないかと。申し込んでくれた方に視聴してもらいたいという主催側の意思表示でもある。 ・ 動画配信は講義のみとし、シンポジウム・グループワークは配信するかを検討した。 ・ 全公開にすると見ている人は数でしか分からず、市内事業所の誰が		

見ているか把握が出来ない。

→今年も昨年度同様、申込の方のみ限定公開とする。動画視聴希望者のみ締切後でも受け付ける。

シンポジウムの公開については、次回打ち合わせ時にシンポジストに確認を行う。

3 障害者差別解消法の啓発について（資料4参照）

- ・昨年度は来場者 250 名で、家族連れや小学生、園児といった子供が多かった。今年度は 250 名想定とする。
- ・昨年度はボッチャの後にアンケートを行った。今年度はボッチャの後にクイズを行う案が出ている。
- ・部会員の方で当日スタッフとしての参加者は、午前(10-12 時)、午後(13-15 時)の 2 時間ずつを担当。受付に 1 名、アンケート・クイズ対応 1, 2 名で対応。

→当日参加者 午前：鈴木重・磯畑。

午後：鈴木香・下山・森田。

センターから 5 名参加。

当日の詳細は渥美さんより連絡する。

(1) クイズについて

- ・差別解消法のパンフレットを大型パネルにして掲示し、その内容からクイズを作成し答えるのはどうか。
- ・クイズを行うスペース、時間が必要なため難しいのではないか。
- ・何を知ってもらいたい、何を持って帰ってもらいたい。子どもにとってパンフレットの内容は難しい。「思いやりをもって接しよう」という内容を伝えたい。困っている人に対して出来ること、身近なことや小さなことでも良いから考えてもらうのはどうか。
- ・パネルを読んだ率直な意見として、どう思ったかをアンケートに自由記述で書いてもらうのはどうか。どんな事をしたことがあるか？なども聞く。
- ・待ち時間にアンケート（付箋添付したもの）を渡して、他の方が書いたもの（記入例を事前に貼っておいたもの）を見ながら考え、意見を付箋に記入してもらい各自で壁に貼る。他者の意見も見えるようにする。
- ・パンフレットにある、障害者に対するマークを使ったクイズはどうか。ヘルプマークだけで良いのでは。見えない障害への理解を伝えたい。

→①クイズでヘルプマークを取り上げる。答えは、めくると書いてある形式。

②今まで、困っている人にどんなことをしたことがあるか。もしくははどんなことが出来るか意見を書いてもらう。

- ・差別解消法の冊子のヘルプマーク（説明書き）の部分のみパネルにする。

4 本日のまとめ、次回の検討事項の確認について

- ・災害時のアンケートを近日中に各事業所に配る。
- ・虐待防止勉強会のチラシが完成次第、周知を行う。
- ・差別解消法の啓発の取り組みは、ボッチャとクイズを行う。

	・令和８年３月に部会全体会議がある。そこで今年度の権利擁護部会の取り組み内容を伝える予定。そのため災害時アンケートの結果を取りまとめ、今後の方向性の検討が必要。今後の方向性については、部会員にヘルピーネットで意見を収集し、意見をもとに令和８年２月の部会の時に方向性を決める。そのため２月部会の事前資料を早めに送るので目を通して部会に参加頂きたい。 ・以前、避難所開設訓練で障害のある方の特性について伝わりにくく、ツールの必要性があがった。災害時アンケートの集計結果次第で、次年度はツール作りに取り組む。 ・意思決定支援の取り組みについて。虐待防止勉強会を通して意思決定支援について学び、各事業所ならびに市全体の支援の質の底上げにつなげる。 ・市内の事業所が増えているが、どこも人材育成が追いついていない現状。人の入れ替わりが激しく、人材が定着しない。そのため人材育成に繋がらない。定着し易い仕組み作りが必要。ケアマネ部会の内容になるため、３月の部会全体会議で意見として投げかけ、権利擁護部会では何が出来るか考えたい。
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和８年２月１６日（月）
次回会場	障害者福祉センター

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	権利擁護部会
日 時	令和 7 年 9 月 17 日（水）10 時 30 分～11 時 45 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 下山 貴弘	
② 安江 真吾（欠）	
③ 森田 沙弥香	
④ 鈴木 香織	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 奥田 洋子	
⑦ 磯畑 香苗	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	

（事務局）

① 渥美 則親	② 八木 柚月
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 桂川 斐斗美	⑥ 三宅 恵里子
⑦ 山 歩美（欠）	⑧